

図書館だより

NO. 139 2009年 9月号
(2009年9月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

キャリアスタートウィーク (職場体験) 報告

七尾中学校生徒3名が、はつかいち市民図書館で職場体験しました。どんな仕事に対しても前向きに、ドキドキしながら取り組んだ3人の姿は初心を忘れかけていた大人へのメッセージにもなりました。

以前は少しかたいイメージがあって、利用しにくいなと思っていたけど今回の職場体験で、そのイメージがなくなりました。今度から利用してみたいと思います。

図書館の書庫にたくさんの本があったことに驚きました。一番印象に残った仕事は、予約された方への電話連絡や休館日あけの返却ポストにあった本を書架に戻す作業です。

返却期限が過ぎた人たちへの電話連絡を毎週していることに驚きました。らくがきや、切り抜きのある本がとも多く、修理する作業も大変だなあと思いました。



資料登録作業中です

<今月の展示>

<さくらぴあ展示>『郷土芸能』

9月27日(日)に開催される「第9回さくらぴあ神楽共演大会」にちなんで、郷土芸能に関する本を展示します。

<中央展示>『災害に学ぶ』

9月は、災害が最も起こりやすい時期です。日頃から、災害に備えた生活を心がけることで、被害を最小限に食い止めることができます。防災グッズも併せて展示していますので、災害の歴史や、防災関連の本から教訓や情報を学んでみませんか。

<児童展示>『ふしぎふしぎ…』

みんなは不思議な体験ってしたことがある?今月は「ふしぎ」をテーマに絵本をたくさん集めてみました。絵本のなかで起こる「ふしぎ」なできごとを、体験してみませんか?

<テーマ展示>『こころの健康に関する本』

夏の疲れがでる季節です。季節の変わり目で体調を崩しやすく、こころも不安定になりやすい日々に、ぜひ読んでもらいたい本を集めました。

さつき読書会情報

毎月1冊課題図書を決めて、本の感想を自由に語り合っています。
みんなで、本のおもしろさを分かち合える「さつき読書会」に参加してみませんか？

<活動日>第3水曜日10:00~12:00
<場所>さくらびあ会議室など
<会費>1,200/月(3ヵ月前納)
<講師>深川賢朗 先生

*課題図書は、図書館で用意します。

~今まで読んだ課題図書~

2008年

- 5月「毎日が日曜日」城山三郎/著
- 6月「永遠の出口」森 絵都/著
- 7月「青い壺」有吉佐和子/著
- 8月「アサツテの人」諏訪哲史/著
- 9月「安徳天皇漂海記」宇月原晴明/著
- 10月「自分の木の下で」大江健三郎/著
- 11月「明日の記憶」荻原 浩/著
- 12月「木を植えた男」ジャンジオノ/著

2009年

- 1月「ビルマの豎琴」竹山 道雄/著
- 2月「八月の路上に捨てる」伊藤たかみ/著
- 3月「兎の眼」灰谷健次郎/著

郷土資料紹介

『廿日市市統計書 2009年版』

廿日市市分権政策部総合政策課/編
H351.7/ハ 2009年

この統計書は、廿日市市の人口・経済・社会・文化・教育・市民生活などの行政各分野の基本的な統計資料を収録し、市勢の現況と推移発展を表しています。

統計表目次は、AからOの15に分かれていて、Nの「教育・文化」のところに、はつかいち市民図書館の利用状況が掲載されています。(2008年3月末現在)

☆個人への貸出冊数

815,653冊(3館合計)

☆団体への貸出冊数

44,429冊(3館合計)

☆蔵書数

はつかいち	202,410冊
大野	129,384冊
さいき	19,959冊

廿日市市に関する資料は、一番奥の「N」の棚にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『佐藤可士和×トップランナー31人』 佐藤可士和/著 集英社 281.0/㍈
- 『耐震設計ってなんだろう』 深澤義和/著 彰国社 524.9/7
- 『今日も、北京てなもんや暮らし』 谷崎光/著 飛鳥新社 292.2/㍈
- 『単位の成り立ち』 西條敏美/著 恒星社厚生閣 609.0/㍈
- 『上坂冬子の老いの一喝』 上坂冬子/著 産経新聞出版 914.6/カ
- 『伊勢神宮 魅惑の日本建築』 井上章一/著 講談社 521.8/4
- 『野球の街 ニューヨーク』 宇佐見陽/著 平凡社 S783.7/㍈
- 『刻まれない明日』 三崎亜記/著 祥伝社 F/ミ
- 『考現学入門』 今和次郎/著 ちくま文庫 B382.1/コ
- 『明治キワモノ歌舞伎 空飛ぶ五代目菊五郎』 矢内賢二/著 白水社 774.2/㍈
- 『続・鬼瓦 ルーツを尋ねて』 玉田芳蔵/著 東京書籍 751.4/㍈
- 『チャンネルファンタズモ』 加藤実秋/著 徳間書店 F/カ
- 『全国鉄道事情大研究中国篇②』 川島令三/著 草思社 686.2/カ
- 『素数たちの孤独』 パオロ・ジョルダノ/著 早川書房 973/シ

新刊

ことものほん

『かめ』

指導/長坂拓也 絵/大片忠明 フレーベル館 E/オ

最初の見開きにぎっしりのかめ。その迫力に驚かされてページをめくると…。かめの生態や飼い方など、かめのことが、絵本の形で楽しくわかりやすく描かれています。だいすきしぜんシリーズの一冊。

『小中学生のためのインターネット安全ガイド』

野間俊彦著 日経/パソコン編 日経BP社 547/1

ネットやケータイは情報を広く集めることができ、個人が簡単に情報を発信できますが、ワナや落とし穴もあります。本書は、プロフを作ったら、知らぬ間に出会い系サイトのリンクが貼られていた！とか、読みやすいメールのコツは？など、ネットやケータイに関する困った！や、教えて！に答えます。

『ぼくのネコにはウサギのしっぽ』

朽木祥作 片岡まみこ絵 学研 913/7

おねえちゃんが拾ったネコは、きれいで愛嬌があって調子がいい。ところが、ぼくが里親を探している人からゆすりうけたネコは、不細工でせっぽちで、いつもびくびくしている。臆病なネコが、かけがえのない家族になっていくまでを描く。表題作のほか2編を収録した短編集。

『MARINA マリーナ』

ルドウィッヒ・ベームルマンズ 作 ふしみみさを 訳 クレヨンハウス E/A

父さんが休みになって、アシカのマリーナ一家は海に行きました。ところが、浜辺にいたマリーナはサメにのまれてしまいます。両親がクジラやワニに助けを求めても、だれも助けてくれません。その時、イルカたちが現われてサメを放り投げました。

『258本をうんだバット』

友成那智著 ポプラ社 783/1

1シーズンの世界最多安打新記録 258本を達成したイチロー選手。イチロー選手の活躍は、バット職人の究極の技に支えられていました。プロの技を持った職人が、野球選手たちを満足させる道具を作るための苦労や努力を綴りました。

『プリンセス・アカデミー』

シャノン・ヘイル作 代田亜香子訳 小学館 933/A

美しいリンダー石が採れるエスケル山に住む14歳のミリ。ある日、王子の花嫁がこの村から選ばれることになったので、ミリは村の20人の女の子たちとともにアカデミーで教育を受けることになった。お妃候補の厳しい教育に耐えながら、さまざまな経験を通して成長していく少女たちの物語。

ミニブックトーク

いろいろな仕事があるんだ！

蒸気機関車のちゅうちゅうの仕事は、毎日客車や貨車を引っ張って走ること。ところが、仕事がいやになって、ある日ひとり走り出しました。煙をかけ抜け踏み切りもピューと通り抜けて、さあ大変！大騒ぎになってみんなは怒りましたが…。『いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう』はアメリカの古典絵本です。

郵便屋さんの仕事は手紙を届けること。コプタくんは、郵便屋さんに遠い所に住むおばあちゃんへ届けてとお願いしました。何を届けてもらったか知りたい人は『ゆうびんやさんおねがいね』を読んで下さい。

ボヘミアのお話『すんだことはすんだこと』のおじさんは、毎日畑で働くのがいやになりました。家の仕事の方が、野良仕事よりだんぜん楽だと思ったおじさんは、おかみさんと仕事を取り替えることにしました。

夜明けを待たずに家をでて、町へいったメアリースミスは、かちかち豆をチューブにこめ、高い窓めがけてひと吹き。彼女の仕事は？『メアリー・スミス』は、ロンドンに住む実在の人物のお話です。

ルリクールとは、フランスでは手仕事で製本や装幀をする職人のこと。作者は旅の途中で出会ったルリクールに強く惹きつけられて、パリに滞在し何度も工房に通って、一心に仕事をする老人をスケッチしました。

『ルリクールおじさん』は、作者の思いがこの絵本に込められていて、ずしんと伝わってきます

『いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう』バージニア・リー・バートン/ぶん・え むらおかはなこ/やく 福音館書店 E/A

『ゆうびんやさんおねがいね』サンドラ・ホーニング/文 バレリー・ゴルバチョフ/絵 なかがわちひろ/訳 徳間書店 E/1

『すんだことはすんだこと』ワンダ・ガアグ/再話・え 佐々木マキ/やく 福音館書店 933/カ

『メアリー・スミス』アンドレア・ユールン/作 千葉茂樹/訳 光村教育図書 E/1

『ルリクールおじさん』いせひでこ/作 理論社 E/1

子どもと本の講座



もっと身近にブックトーク!

8月20日(木)に実施した「子どもと本の講座」には、32名の参加者がありました。第1回目は、『ブックトークに親しもうーブックトークの設計図づくりー』と題して、講師の吉川五百枝さん(ひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会代表幹事)とアシスタントの田中いづみさん(府中市学校司書ボランティアネットワーク虹のポケット代表)をお迎えしお話を伺いました。ブックトークの実演を交えた分かりやすいおはなしでした。講座の中で話された内容の一部をご紹介します。

ブックトークには興味があるけれど、「たくさん本を知らないといけない」と考えて実際にブックトークに挑戦したことがない人も多いと思います。けれども、この世に存在するすべての本を読んでから、ブックトークを行うことは不可能です。縁あって自分が出会うことのできた本の中から、自分で許せる範囲の本を選びベストを尽くすこと、ブックトークを実践するにはそれしか方法がありません。ブックトークの面白さは実際にやってみないとわかりません。

聞き手にとって「ブックトークを聞いた→わかった→終わり」ではダメです。紹介する本に対して、自分がどれだけ面白かったかということ伝えて、相手に読んでみようと思わせたら成功です!!ぜひみなさん挑戦してみましょう!

次回の講座は、ブックトークの実践1 9月3日(木) 10:00~12:00
ブックトークの実践2 9月9日(水) 13:30~15:30
場所は、あいプラザ3階 講座室です。

見学だけでも受講可能です。「ブックトークって何?」という人も、ぜひご参加ください。

9月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1 休館	2	3	4 ◎	5
6	7 休館	8	9	10	11	12 ★
13	14 休館	15	16	17	18 ◎	19 ■
20	21	22	23	24 休館	25	26 ★
27	28 休館	29	30 休館			

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時~

2回目 11時30分~

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児~小学校低学年

【時間】11時~

■ストーリーテリングのおはなし会

【対象】幼児~

【時間】11時~

